

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ライフ新高石店	階数	地上3F
建設地	大阪府高石市高師浜三丁目	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,300時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年3月27日
敷地面積	3,021㎡	作成者	田中 真紀子
建築面積	2,307㎡	確認日	2019年3月28日
延床面積	4,322㎡	確認者	有賀 秀典



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	地域に根付いた商業施設づくり 商業施設としての機能を満足させつつ、将来のレイアウト変更のしやすさを考慮した建築・構造・設備計画	その他 0
Q1 室内環境	快適にショッピングを楽しむことができるような建築的・設備的配慮(天井高さ、空調性能や照度の確保)	Q3 室外環境(敷地内) 歩道上空地、子供遊び場の整備
LR1 エネルギー	断熱性能の高い外装材の選定及び開口部の少ない立面計画 高効率な設備計画	LR3 敷地外環境 十分な駐輪場の確保 敷地内緑化
Q2 サービス性能	店舗レイアウトの自由度を考慮した建築・構造計画	
LR2 資源・マテリアル	地球環境に配慮したリサイクル材及び有害物質を含まない建材の採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-変-0022

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)ライフ新高石店						
	建設地	大阪府高石市高師浜3丁目						
	用途/区分	物販店						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						2	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				2.0	2	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.7	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							